

## 世界U19選手権（フランス・パリ）ITO 参加報告

東京都ローイング協会所属  
国際審判員 山崎 佳奈子

はじめに

2023年8月3日（木）から8月5日（土）、フランス・パリで開催された世界U19選手権に International Technical Officials (ITO)として審判参加させていただきましたので、以下ご報告させていただきます。

## &lt;大会概要&gt;

日時：2023年8月2日（水）～8月6日（日）※当初予定

2023年8月3日（木）～8月5日（土）にスケジュール変更

コース：ヴェール・シュル・マルヌ湖、パリ・フランス

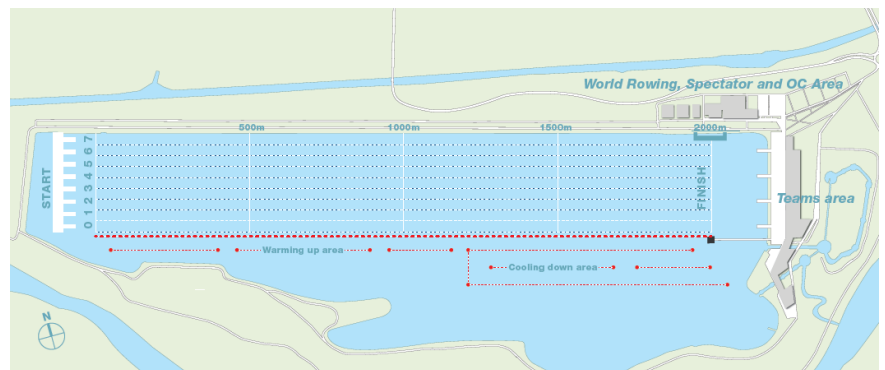
種目：JW1x、JM1x、JW2-、JM2-、J2Wx、  
JM2x、JW4-、JM4-、JW4x、JM4x、  
JW4+、JM4+、JW8+、JM8+  
(14種目)

参加国：50ヶ国+1団体（219クルー）

パリ郊外のヴェール・シュル・マルヌ湖

は2024年のオリンピック・パラリンピック

競技大会のボート競技の会場で、30年以上の歴史のあるコースであり、1997年のワールドカップIIの会場でもあった。この年、同じくフランスが575km南のエギュベレットで世界ボート選手権大会を開催した。



## &lt;ITO 審判員&gt;

**President of Jury** : Patrick ROMBAUT (BEL)

**Jury** : 18名

Amar GHORAB (ALG), Sergio RAMIREZ SCOLARO (ARG), Debbie WOOD (CAN), Goran FRUK (CRO)

Marie HEIDE (DEN), Uxue ZABALA URIGAIN (ESP), Eleanor FORSHAW (FRA), Claire Mc INTOSH (GBR)

Jens WIESNER (GER), Asma NIKVAR (IRI), Kanako YAMAZAKI (JPN), Vanessa Jacki MC IVER (NZL)

Malgorzata PAWLAK-KUBASEK (POL), Nuno BOTELHO SILVA PAIS (POR), Dorin ALUPEI (ROU)

Valentina BUDAK (SLO), Gijs VAN STEENWIJK (SUI), Tiffany KNAPP (USA)

今回も18名のITOが各国から集まっていたが、以前セルビアのWC Iや香港、ポルトガルのWRCCで一緒だったメンバーもあり、久しぶりの再会を喜んだ。

東京 2020 で NTO 参加した Ana Nikolic は今回も NTO として参加していた。また、2020 東京オリンピック・パラリンピックでスポーツマネージャーを務めた Nathalie Phillips が今回 Technical Delegates (技術代表) として参加しており、こちらも嬉しい再会だった。



日浦氏 (WR Dr.) 細淵氏 (WR 理事) Nathalie 氏 (WR TD)

## <8月1日(火)大会前日・代表者会議>

大会前日に参加クルーに対して行われる「Team Manager Meeting (=代表者会議)」にて、本大会は **2024 年の「テストイベント」**ではないことが明確化された。

本大会は「**テストアクティビティ**」として、以下の項目のみがテストされることがわかった。

- 航行ルール
- いくつかの水上および競技備品
- 一部の計測データシステム (WRU19CH のタイムチームには影響しない)
- 2 レースのみの表彰式のタイミング

これ以外は本大会ではテストされない。

## 【悪天候によるレースプログラムの変更】

今回の U19 選手権は 8 月とは思えない冷夏と悪天候の大会であった。大会前の代表者会議で既に初日 8 月 2 日 (水) のレースは行わず、すべての予選は 8 月 3 日 (木) に行われることが周知された。

その後、8 月 3 日 (木) 付の告知にて 8 月 6 日 (日) は悪天候が予想され、危険で漕ぎにくい状況が生じる可能性があるため、規則 63 および規則 63 の細則 - 悪天候の場合の代替プログラム 5. に従い、以下の通りレースプログラムが大幅変更され、**5 日間のレースが 3 日間に短縮された。**

### ➡規則 63 細則 - 悪天候の場合の代替プログラム

5. 前ラウンドのレース結果は、競技の公平性を確保するために、通常のプログレッション・システムに従わずに使用することができる。

1. 8 月 4 日、5 日は第一レースを 9:30➡8:30 に変更し、レース間隔を 6 分➡5 分に変更
2. WRC 勝ち上がりシステムを適用し、準決勝 C/D ラウンドは行わず、クルーは敗者復活戦から準決勝 A/B 決勝 C と決勝 D に進む。
3. 8 月 5 日は悪天候と強風が予測されるので、FA (12 分間隔) ➡FB (5 分間隔) で行う。
4. 8 月 6 日日曜日にはレースは行わない。

# World Rowing U19 Championships 2023



WEDNESDAY	THURSDAY	FRIDAY	SATURDAY	SUNDAY
2-Aug	3-Aug	4-Aug	5-Aug	6-Aug
	HEATS	REPS/O-FINALS	SEMI8 C/D	FINAL8 B
	9:30 JW4+	9:30 JW4+	9:30 JM2-	9:30 JW4+
	9:36 JW4+	9:36 JM4+	9:36 JM2-	9:36 JM4+
	9:42 JM4+	9:42 JM4+	9:42 JM4X	9:42 JW2-
	9:48 JM4+	9:48 JW2-	9:48 JM4X	9:48 JM2-
	9:54 JW2-	9:54 JM2-	9:54 JM2x	9:54 JW4-
10:00-11:30hrs	10:00 JW2-	10:00 JM2-	10:00 JM2x	10:00 JM4-
Practice	10:06 JW2-	10:06 JM2-	10:06 JW2x	10:06 JW4x
Starts	10:12 JW4-	10:12 JM2-	10:12 JW2x	10:12 JM4x
	10:18 JW4-	10:18 JW4-	10:18 JM1x	10:18 JM2x
	10:24 JM4-	10:24 JW4-	10:24 JM1x	10:24 JW2x
	10:30 JM4-	10:30 JM4-	10:30 JW1x	10:30 JW8+
	10:36 JM4-	10:36 JM4-	10:36 JW1x	10:36 JM1x
	10:42 JW4x	10:42 JW4x	SEMIS A/B	10:42 JW1x
	10:48 JW4x	10:48 JM4x	11:00 JW2-	10:48 JM8+
	10:54 JW4x	11:06 JM4x	11:07 JW2-	
11:00 hrs	11:12 JM4x	11:12 JM4x	11:14 JM2-	FINAL8 A
Fairness	11:18 JM4x	11:18 JM4x	11:21 JM2-	11:00 JW4+
Committee	11:24 JM4x	11:36 JM2x	11:28 JM4-	
Meeting	11:30 JM4x	11:42 JM2x	11:35 JM4-	11:10 JM4+
	11:36 JW2x	11:48 JM2x	11:42 JW4x	
12:30 hrs	11:42 JW2x	11:54 JM2x	11:49 JW4x	11:26 JW2-
Spare	11:48 JW2x	12:00 JW2x	11:56 JM4x	
Races	11:54 JW2x	12:06 JW2x	12:03 JM4x	11:40 JM2-
	12:00 JW8+	12:12 JW8+	12:10 JM2x	
	12:06 JW8+	12:18 JM1x	12:17 JM2x	11:56 JW4-
	12:12 JM8+	12:24 JM1x	12:24 JW2x	
	12:18 JM8+	12:30 JM1x	12:31 JW2x	12:10 JM4-
	REP8 >24	12:36 JM1x	12:38 JM1x	
	12:24 JM2x	12:42 JW1x	12:45 JM1x	12:30 JW4x
	12:30 JM2x	12:48 JW1x	12:52 JW1x	
	12:36 JM1x	12:54 JW1x	12:59 JW1x	12:60 JM4x
	12:42 JM1x	13:00 JW1x		
	12:48 JW1x	13:06 JM8+		13:06 JW2x
	12:54 JW1x			
				13:20 JM2x
				13:36 JW8+
HEATS			FINAL8 E	
15:30 JM2-			15:30 JM2x	13:60 JM1x
15:36 JM2-			15:36 JM1x	
15:42 JM2-			15:42 JW1x	14:06 JW1x
15:48 JM2-			FINAL8 D	
15:54 JM2x			15:48 JM2-	14:20 JM8+
16:00 JM2x			15:54 JM4x	
16:06 JM2x			16:00 JM2x	
16:12 JM2x			16:06 JW2x	
16:18 JM2x			16:12 JM1x	
16:24 JM1x			16:18 JW1x	
16:30 JM1x			FINAL8 C	
16:36 JM1x			16:24 JM2-	
16:42 JM1x			16:30 JM4-	
16:48 JM1x			16:36 JM4x	
16:54 JW1x			16:42 JM2x	
17:00 JW1x			16:48 JW2x	
17:06 JW1x			16:54 JM1x	
17:12 JW1x			17:00 JW1x	
17:18 JW1x				



THURSDAY	FRIDAY	SATURDAY
3-Aug	4-Aug	5-Aug
HEATS	REPS/O-FINALS	SEMI8 A/B
8:30 JM1x	8:30 JW2-	8:30 JW2-
8:36 JM1x	8:35 JW2-	8:35 JW2-
8:42 JM1x	8:40 JM2-	8:40 JM2-
8:48 JM1x	8:45 JM2-	8:45 JM2-
8:54 JM1x	8:50 JW4-	8:50 JM4-
9:00 JW1x	8:55 JW4-	8:55 JM4-
9:06 JW1x	9:00 JM4-	9:00 JW4x
9:12 JW1x	9:05 JW4x	9:05 JW4x
9:18 JW1x	9:10 JM4x	9:10 JM4x
9:24 JW1x	9:15 JM4x	9:15 JM4x
9:30 JW4+	9:20 JM4+	9:20 JW2x
9:36 JM4+	9:25 JW2x	9:25 JW2x
9:42 JM4+	9:30 JW2x	9:30 JM2x
9:48 JW2-	9:35 JW2x	9:35 JM2x
9:54 JW2-	9:40 JW2x	9:40 JM1x
10:00 JW2-	9:55 JM2x	9:45 JM1x
10:06 JM2-	10:00 JM2x	9:50 JW1x
10:12 JM2-	10:05 JM2x	9:55 JW1x
10:18 JM2-	10:10 JM2x	
10:24 JM2-	10:15 JW8+	FINAL8 A
10:30 JW4-	10:20 JM1x	10:18 JW4+
10:36 JW4-	10:25 JM1x	
10:51 JM4-	10:30 JM1x	10:28 JM4+
10:57 JM4-	10:35 JM1x	
11:03 JM4-	10:40 JW1x	10:36 JW2-
11:09 JW4x	10:45 JW1x	
11:15 JW4x	10:50 JW1x	10:47 JM2-
11:21 JW4x	10:55 JW1x	
11:27 JM4x	11:00 JM8+	10:58 JW4-
11:33 JM4x		
11:39 JM4x	Spare Race 11:30 hrs	11:11 JM4-
11:45 JW2x		
11:51 JW2x		11:28 JW4x
11:57 JW2x		
12:03 JW2x	FINAL8 E	11:36 JM4x
12:09 JM2x	12:30 JW1x	
12:15 JM2x	FINAL8 D	11:47 JW2x
12:21 JM2x	12:35 JM2-	
12:27 JM2x	12:40 JW2x	11:58 JM2x
12:33 JW8+	12:45 JM2x	
12:39 JW8+	12:50 JM1x	12:11 JW8+
12:45 JM8+	12:55 JW1x	
12:51 JM8+	FINAL8 C	12:28 JM1x
REP8 >24	13:00 JW2-	
12:57 JM1x	13:05 JM2-	12:36 JW1x
13:03 JW1x	13:10 JM4x	
13:09 JW1x	13:15 JW2x	12:47 JM8+
	13:20 JM2x	
	13:25 JM1x	FINAL8 B
	13:30 JW1x	12:59 JW2-
		13:11 JM2-
		13:16 JW4-
		13:21 JM4-
		13:26 JW4x
		13:31 JM4x
		13:36 JW2x
		13:41 JM2x
		13:46 JM1x
		13:51 JW1x

## &lt;8月2日 審判ミーティング&gt;

大会が無くなったこの日は Jury Inspection（コース視察）と審判ミーティングが行われた。始めに審判長のパトリックから、今年の5月に改定された WR 競漕規則に関する説明と、以下注意があった。

【WR 規則改訂】※ユニフォームについてのみ抜粋

Tシャツおよびアームカバー：クルーの個々のメンバーは、レーシング シャツの下に T シャツまたは腕を覆うその他の衣類を着用するかどうかを選択することができる。着用する場合は色と識別について附則 2b)5b)に準ずること。2人以上のクルーが着用する場合そのデザイン、色、長さは同じものとする。

靴下およびレッグカバー：クルーの個々のメンバーは、靴下とレッグカバーを着用するかどうかを選択することができる。2人以上のクルーが着用する場合そのデザイン、色、長さは同じものとする。

ヘッドウェア：クルーの個々のメンバーは、帽子を着用するかどうかを選択することができる。この規則の目的として宗教的なカバーリングは個人的なものであり、帽子とはみなされない。2人以上のクルーが帽子を着用する場合そのデザイン、色、長さは同じものとする。※これらの改定は**宗教的または個人的な理由で個々の選手が着用することに**関して許可するという評議員会の決定によるものである。

## 【審判長注意】

- (1) 本大会は WR ルールに基づくこと
- (2) 監視の際は絶対に艇に触らないこと
- (3) どうしても艇に触る必要がある場合は、コーチなどに指示するか、クルーに許可を得ること
- (4) クルーの個々のメンバーは、個々でアンダーシャツ、レギンス等着用するかどうかを選択することができるようになったので、注意すること
- (5) 無線は簡潔に短くすること
- (6) 今大会はウェザーブイを設置している
- (7) 今大会には国代表としてではなく **AIN** - Individual Neutral Athletes として 6 クルーが参加
- (8) 国名の呼び方が変わっているので注意

トルコ：ターキー → トウキエ

チェコ：チェクリパブリック → チェキア

今回も大会前に参加審判用の WhatsApp グループが開設され、日々の連絡に使われた。

## &lt;8月3日（木）大会1日目&gt;

2日に行われる予定の予選を含め、すべての予選と JM1x の敗復が行われた。

午前：Umpire（主審）3

今回主審艇は 6 艇でゾーン審判だった。

待機場所は 125m (A)、450m (B)、850m (C)、1200m (D)、1575m (E)、1925m (F) でスタート設備は海の森と同じく足でフィンガーを動かすタイプであった。それだけではなく、海の森と同じく発艇台からみて右から 0 レーン、1 レーン・・・と起算されていた。



Umpire は事情により動く場合があるので、Umpire ではなくポジション (A) ~ (F) で認識するように言われた。

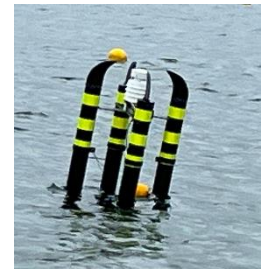
Umpire3 なので 850m (C) 付近配置でレースが通過すると中央レーンに進み注視する形だったが、2-や 4-などの舵手無し種目でも曲がることなく、ブイをたたき、レーン侵害をすることなく漕行していたのは、改めて世界選手権なのだと感じさせた。

ミーティングであったウェザーブイを見つけたが、ぶつかるクルーはいなかった。

午後：Judge at the Start (線審)

午前と午後の配置交代はわずか 15 分の間に行われた。このため一部の部署は 1 レース早く交代していた。

アライナー (艇揃え) はフランスの NTO が担当しており、後ろの画面でアライナーが揃え、線審は前の画面でスタートシステムの後方で艇が揃ったのを確認し、スターターとの直通無線で「Line is Clear」と伝える。それを聞き、スターターはクルーに「Raising Start System」と号令し、スタートシステムボタンを押し、システムが作動する。



ウェザーブイ



アライナー操作画面



ブーツが上がったところ



線審長の操作ボタン (白が白ライト)

通称ブーツと言われているバウボールを受けるスペースが水面から浮上し、そこにアライナーの指示でポートホルダーがバウボールを入れ込む。すべてのレーンにバウボールが入った時点で、線審は「White Light」と言い白ボタンを押すとスターターにスタート準備ができたことが白ライトで伝えられる。

途中エイトのレースの際、バウボールでブーツが押されてしまい、水中に倒れてしまった。そこで、ライトを消し、スターターに直通無線でブーツが倒れたためスタートしないよう説明をした。

スタートシステムは発艇台にあるので、スターターがシステムをリセットして再スタートとなった。6 分間隔のレースだったので少し遅れたが、その後は順調にレースが進んだ。



スタートタワー (黄色は 2 分前ライト)



スターター操作盤



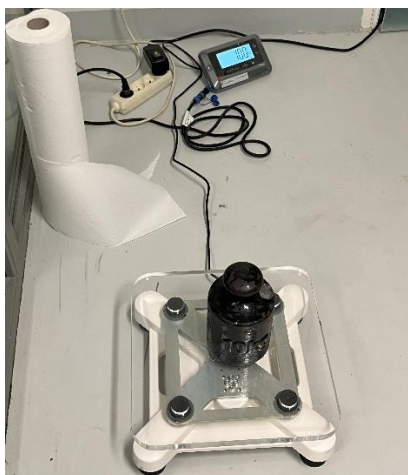
スタートライト

<8月4日（金）大会2日目>

午前：Weighing Athlete（舵手計量）

前日夜、翌日の配置が WhatsApp で送られてくるのだが、3日は送られて来なかった。そんな中パトリック審判長から名指して明日の舵手計量を頼むとメッセージがあり驚いたが、ミーティング途中で退席しなければ間に合わない時間だったので確認のためだったのかと思う。

舵手計量はテスト計量用のスケールが1台、本計量用のスケールが1台あり、検量用の10kgのおもりが置いてあった。事前に NTO がテストしてくれていたが、勉強のためもう一度テストさせてもらった。



テスト計量器



おもり（砂）



本計量器

日本では日本人の体格を考慮し、男子種目 55kg、女子種目 50kg であるが、WR 大会では男女とも舵手の重量は 55kg 以上となっている。

日本では選手が1回計量し、デッドウェイトを審判が作り、そのデッドウェイトを量って選手に持たせるが、ここではまずテストスケールで選手が計量し、不足分のデッドウェイトを選手が作り、再度テストスケールに乗って 55kg になることを確認し、はじめて本計量器にデッドウェイトと共に乗るといった手順だった。おもりも砂利などではなく砂だった。

日本と違うだけでなく、私の経験した他の WR 大会とも違った手順で疑問に思ったが、NTO からずっとこの方法で行っていると聞き、混乱を招いてもいい、テストスケール計量から自分が一緒に確認することにしてこのやり方に従った。

後で他の国の審判に聞いたところ、その審判の国は日本のやり方に近いと言っていたが、フランスに近い国もあり、国により様々なやり方をしているようだった。

ローイングスーツで計量し、時計、靴下、帽子などは外す事は日本と同じである。

計量結果は CC Responsible（監視長）に伝え、WhatsApp に掲載したが、WR 審判委員会の Jerome からは通信環境もあり WhatsApp を見られない状況もあるので、大事なものは監視長に伝え、監視長がそれを無線で発艇、主審に伝えることだと説明された。確かにそうだと感じた。

計量が終わると CC IN（帰艇棧橋監視）に移動した。ここではいくつかのチェックポイントがある。

#### (1) 帰艇したかどうかのチェック

2つの棧橋にそれぞれ1名 ITO と NTO がつく。ボランティアが帰艇棧橋でバウナンバーと GPS を外して棧橋の上の ITO に見せるので、そこで帰艇チェックをする。クールダウンがありレース通りに帰艇するわけではないので、バウナンバー3のクルーが同じ棧橋に3艇いることも稀ではない。艇種と国ステッカー、ブレードでクルーを区別する。

- (2) クルーの健康状態
- (3) デッドウェイトの確認
- (4) 艇計量クルーの計量指示

審判長により決められたクルーに艇計量の指示をする。棧橋にはボランティアが数名おり、彼らがクルーの前後につき艇計量所まで誘導する。ジュニアということもあるのか国によっては英語の通じないクルーもあり、近くにいたコーチに艇計量の指示をした。

午後：Umpire 5

今回は交代に 30 分あったので、忙しくは無かったが、一日雨だったのでとにかく寒かった。

Umpire5 なので 1575m 地点でポジション(E) だった。昨日と方法は同じだが、5 分間隔という事もあり、戻ってはすぐ次のレースが来ている状態だった。

ドライバーは地元のローイングクラブのコーチが多く、昨日のドライバーは Vincent BOVE (バサ) という人で、家族もローワラーであり、何と娘さんが東京 2020 女子軽量級ダブルスカルで銀メダルを取ったそうである。Claire BOVE という方だそう。

コロナ禍のオリンピックで、観光も出来ず、おそらく選手村と海の森の往復だったかと思う。「折角の日本を楽しんでもらえなくて残念だ」と伝えたら、そんなことはない、彼女から「選手村や会場のボランティアたちがとても親切にしてくれたので、とても良い思い出になった」と聞いたと言われた。

異国でこのような形で日本を褒められると、見知らぬボランティアの方だが「親切にしてくれてありがとう」と言いたくなった。

<8月5日(土) 大会3日目>

この日は大会最終日となり、悪天候と強風が予測されたので朝に SEMI FINAL A/B、18 分空いて FINAL A を 12 分間隔で行い、その後 FINAL B を 5 分間隔で行うという変則的なスケジュールであった。

主審も「ゾーン審判」→「ダイナミック(最後まで追行)審判」→「ゾーン審判」と目まぐるしくポジションが変わる。こんなに変わるのは初めてだと言うと、ヨーロッパの審判から「よくあることだ」と言われた。

午前：Finish Judge (判定員) →Responsible Judge Finish (判定長)

アジアの大会では経験があったが、WR 大会では初めての判定だった。ITO は着順を「2,1,3,5,4」などと声で知らせ NTO の 1 名が通過とともにブザーを押し、着順をボタンで入力する。もう 1 名の NTO はバックアップタイムをとる。ITO は白ボタンを押し、審判艇の白旗に白ランプで返す。



NTO の着順ボタンとブザー

フィニッシュタワーでは審判長の Patrick、WR 審判委員会の Angela が座っていた。プレッシャーで緊張して手が震えた。まだ修業が足りないと感じた。

最初レースが来るまで黙っていたのだが、Angela からレースが近づいたら「Race is approaching.」と言って皆に知らせると言われ、アジアの大会ではち



ITO の白ボタン(ランプが付く)

ゃんと言っていたのに全く忘れてしまったと少し落ち込んだ。「Race is approaching」は日本でいう号令動作の「ヨーイ」と同じで、周りのメンバーに周知するために必要な号令だと感じた。

## World Rowing U19 Championships 2023

その後小さなミスもあり、またまた落ち込みつつも、0.01 秒差を目視で着順を言い、写真判定と合っていた時は NTO が振り向いてサムズアップ（いいね！）してくれた。

96	5 AUG 2023	A/B 1	GRE 7:20.36	IRL 7:20.37	ITA 7:20.72	AUS 7:23.21	FRA 7:27.36	GER 7:28.60	1-3->FA, 4..->FB
----	------------	-------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	------------------

午後：Umpire5

この日も 12 分のうちにフィニッシュタワーから走り出て審判艇に飛びのっての交代だった。

FINAL B に入っていたが審判艇のローテーションでダイナミックだった。

1 レース追行後はゾーンに戻ったが、この切り替わりにフィニッシュ付近の審判艇同士で多少バタバタした。

その後天候はどんどん悪化し、最後の FINAL B 数レースは雷が鳴り始めた。レースを延期するのかどうか気になっていたが、結局 5 分間隔だったレースをもっと詰めて早めにスタートさせていたため、ゾーンで中央に出て振り向いたらもう次のレースが来ている状況だった。

それでも何とか最終レースまで無事終了した。



<最後に>

今回の大会では受付時に AD カードと共に水筒をもらった。これは、大会期間中ペットボトルなどの配布は無いということの意味する。確かにペットボトルは配布されず、会場の数か所に「DRINKABLE」と書いた水飲み場があり、そこで皆、水筒に水を入れていた。

また、参加者にはカードか腕につけるチップが配布され、それは食事チケットにもなり、会場の売店で買い物をする時のプリペイドカードになるようだ。会場での現金のやりとりは無く、カードにチャージするところがあり、買い物をしたい人はそこでチャージしたカードで買い物をする。



プリペイドカード（表）



（裏）



水筒と巾着袋

WCI では I T O 18 人中女性性は 7 人だったが、今回はなんと 18 人中 11 人が女性審判であった。

これほど女性審判が多い大会は初めてである。ジェンダーバランスが逆転した大会であった。



WR 審判委員会：ESP, TUN ITO：CAN, SLO, DEN, ESP, POL, JPN, IRI, NZL, USA, FRA, GBR



## World Rowing U19 Championships 2023

ペットボトルの削減による海洋ごみ問題の解決、キャッシュレスによる安全安心な環境、女性審判増加によるジェンダー平等（今回は逆転であったが）、2030年までに17の目標を達成する持続可能な開発目標（SDGs）への取り組みを実現している大会であったことも興味深かった。

最後に、休暇を認めてくれた勤務先（東京都ローイング協会）、昨年に引き続き送り出してくれた家族に心から感謝するとともに、審判派遣いただいた日本ローイング協会にも感謝申し上げます。ありがとうございました。



ITO18名、WR 審判委員会 5名



NTO23名